VOL.170

2025 年 12 月号

そこはあなたの戦うべき場所です

唐突な質問ですが、自分が最も輝ける場所はどこか考えたことはありますか。学校、部活、生徒会、地域活動などみなさんがかかわる「場」はとてもたくさんあります。そのなかで自分にとって得意な場もあれば不得意な場もあるでしょう。日本人の多くは「不得意な場で活躍してこそ意味がある!」みたいにゴリマッチョな考え方をする人が多いですよね。でもそれは明確に誤りだと思います。人口がどんどん減っていく現代でこんなことをやっていたのでは、得意な場で活躍してくれる人が減ってしまいます。さっさと不得意な場から離れて得意な場に行くべきです。受験や進路選択も同じことです。「苦手を乗り越えて」とかいう前に、それは本当に乗り越えないといけないのか真剣に考えましょう。迂回してもっと楽な道があるならばそこに進めばいいのです。楽な方に流されることと自分にとって楽な道を選ぶことは違います。前者は何も考えておらず後者は考えの先に道があります。いま一度考えよう。〔金子祐太〕

11 月・12 月のおもなスケジュール		
22	±	中3入試突破ゼミ・期末直前ゼミ
		高 2 保護者会
23	В	第2回三田祥雲館模試
		自習室開室(12:00~18:00)
24	用	振替休日【授業あり】
29	土	中3入試突破ゼミ
30		中3公開テスト【会場受験】
12/1		教育相談会【授業なし】
~4		
5	金	冬期講習新クラス発表
6	土	中3入試突破ゼミ
		新高 1 進学保護者会
7		特進館縁日(13:00~17:00)
13	土	中3入試突破ゼミ
19	金	冬期講習スタート
30	火	年末年始絶対合格感動合宿①
		やる気 UP コンサート
31	水	【休室】

※年末年始の休室は、12/31~1/2 の予定です。

まちがえたっていいじゃない

「間違っていると思うけど」「わからんからカンで書いたけど」という枕詞をよく聞きます。不正解になったときのための保険なのか、本当にそうなのかはわかりませんが。このような姿勢は自身の成長の可能性を著しく低くしていると思います。自分の失敗を正面から受け止めずにいれば、傷つくことはなく、とても快適に過ごせるでしょう。しかし、そのように安全地帯にいるだけでは本当の意味での力は身につきません。人間の筋肉は傷つくことでより太く、強くなると言われています。それは周囲の環境に適応するために「このままではだめた」と認識するからではないでしょうか。傷つくことで初めて自身の置かれた状況が理解できます。間違えないと気づけない。〔金子祐太〕

君の第3の居場所

ラリースクール

学び舎

を開校します



10 月の"自習王"決定! ☆中学生の部 中3 藤原 芽生 115.4 時間

☆高校生の部 高3 下村 奈都 129.0 時間

余裕

昔、生徒会の顧問だった中学校の恩師に「何事も余裕を持ちなさい」と言われたことがあります。 焦りは判断を曇らせ、力を出せなくなるからだそうです。 これは定期テストでも同じことがいえると思います。 実際、勉強ができる子ほど、提出物にとりかかるのが早いものです。 何事も早め早めに取り組んで余裕を持つことが大事ということですね。 〔伊藤大悟〕

12月分 _{学費の振替} 27 に

11月 12月 19日(金)より冬期 講習がスタートいたします。 高校生の補習授業のご案内も ご準備できておりますので、 教室にてお受取り・お申し込 みください。 申込締切は12月13日(土)

背中で語ること…

先日、ある前総理がテレビで「忙しくて1日3時間しか寝ていない」と、"がんばっていますアピール"を愚痴っぽく語っているニュースに、この上ない不快感を覚えました。自分の努力を他人に恩着せがましく語る行為は、本当にみっともないことだと思います。本来、そのような話は自分でなく他人が自然に感じ取り、他人の口から発せられるもの。だから、「あの人はたいへん苦労されている」とかが自然で、「オレは苦労しているんだ」みたいなことを自分で吹聴する人間を、私は絶対に信用しません。



教師が授業で生徒に向かって、「先生はお前たちのためにがんばっているのだゾ」などと発言するのも問題外。 教師はそれでご飯をいただいているのだから、そんなことは当然のことで、誰も尊敬も同情もしないと思います。

自ら求めなければ評価を得られない人ほど、愚かでみじめなものはありません。 少子化が進み、塾業界の将来は"三重苦"にさいなまれています。少子化による 入試の易化。不登校生の急増。教育界への AI 台頭。そんな逆境の中で、私たちは 教育者として、たと困難を前にしても常に笑顔で立ち向かい、子どもたちに常に 背中で語りながら、前向きな姿を見せ続けていきたいと考えています。[北村昌弘]

代表北村の独り言…

関西弁と思いますが、「ちゃらんぽらん」 という言葉がありますよね。「いい加減 で無責任なこと」を表す俗語です。 他にも「ぼんくら」や「スカタン」等、 人をけなす関西弁ってたくさんあって、 とってもおもしろくて興味深いです…。

編集後記

毎年のことですが、気が付けば12月が目前に迫り、一年が終わろうとしています。今年は12月から一気に寒さがやってくるという予報も出ていますが、この時期いつも迷うのは自家用車のタイヤを冬タイヤに替えるかどうか…。車をお持ちの皆さん、どうされていますか??少し前までは毎年替えていたのですが、積雪の頻度も量も少なくなり、昨年は雪が降ったら車に乗らないと決めて替えずに過ごしました。それでも特に不便だと感じた記憶がないので、タイヤ交換の時間と費用も考慮した結果、いまのところ今年も替えない方向に傾いています。